

経営比較分析表（平成30年度決算）

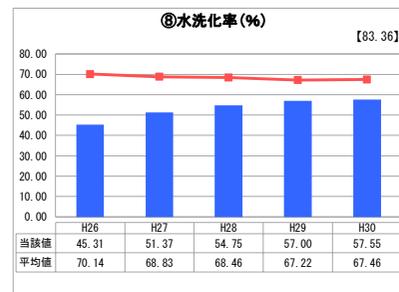
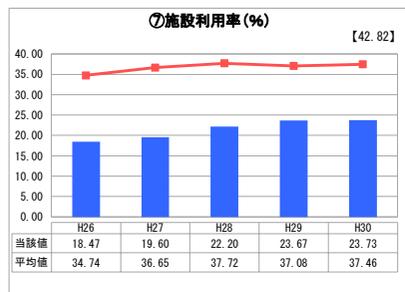
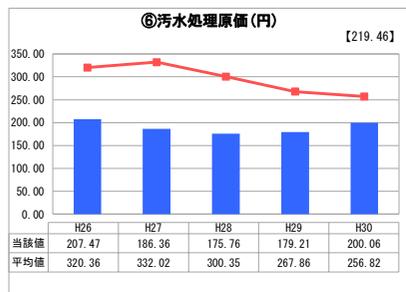
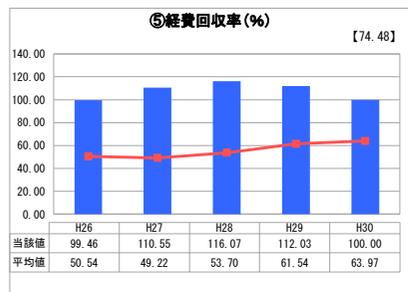
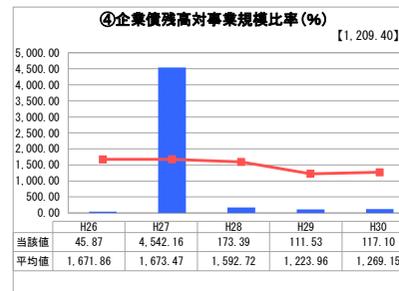
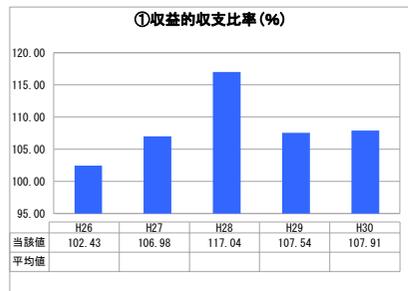
福島県 浅川町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)
-	該当数値なし	41.16	103.08	3,801

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
6,440	37.43	172.05
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,636	1.08	2,440.74

グラフ凡例
■ 当該団体会値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率：H27年度以降100%を超える水準で推移しているため経営状況は健全である。
 ②累積欠損金比率：該当数値なし。
 ③流動比率：該当数値なし。
 ④企業債残高対事業規模比率：H27年度は非常に高い数値となっているが、一般会計負担分を控除すると当該値が9.63となり、H30年度についても117.10と類似団体平均と比較して低い数値となっている。
 ⑤経費回収率：概ね100%で推移しており経営状態は健全である。類似団体平均と比較しても高い数値となっている。
 ⑥汚水処理原価：H29以降上昇傾向にあるものの類似団体平均と比較して低い数値であり効率的な汚水処理がなされている。
 ⑦施設利用率：類似団体平均と比較して低い状況であるが、年々増加している。管路施設の整備が途中であるため、今後、更に増加する見込である。
 ⑧水洗化率：類似団体平均と比較して低い状況であるが、年々増加している。管路施設の整備が途中であるため、今後、更に増加する見込である。

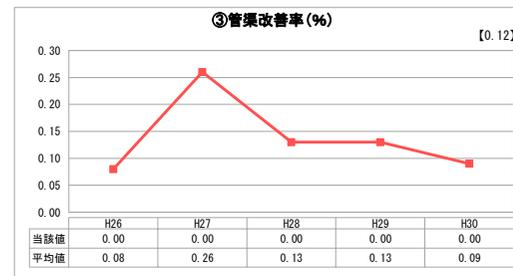
- ・収益的収支が100%を超えており経費回収率も100%を超えているため健全な経営ができていると思われる。
- ・汚水処理原価は類似団体平均より低い数値となっているが、今後、老朽化等による維持管理費の増加に対応するため、接続率の向上による有収水量を増加させる取組が必要となる。

2. 老朽化の状況について

③管渠改善率：類似団体平均と比較して低い数値となっている。

- ・平成18年3月供用開始のため、比較的新しい施設ではあるが、供用開始から10年を過ぎたためポンプ等のオーバーホール時期となってきた。
- ・管渠は耐用年数を経過するものはないが、東日本大震災の影響を受けた管渠もあることから、定期的な点検・調査をする必要がある。その点検において、改修の必要があると診断されたマンホール蓋があることから、今後の対策に取り組む必要がある。

2. 老朽化の状況



全体総括

- ・収益的収支が黒字とはなっているが、施設の供用開始から10年を経過し、今後、維持費等の増が見込まれるため、更に経費削減や施設利用率の向上が必要になる。
- ・処理区域の拡大については、今後の更新や修繕も考慮し、投資規模は適切か判断する必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。